

# 長島文芸

ながしまぶんげい

## 長島短歌会

引き潮の河口に夕日差すところ鴨らは群れてぬくぬくと浮く  
何処まで行かば筈あらんかと一町歩の竹林歩み疲るる  
姿なくあばれまわりて新型コロナ地球上の人慌てさせをり  
庭隅の浅き窪みに雨落ちて踊るごと跳ぬる窓に見入れば  
戸を壊し夜に飛び出しし牛五頭ハウスに干しゐる青草を食む  
如月の厳しき寒去り手作りの雛を飾りて春を待ちをり  
海棠の花は程よくふくらみてひねもす降る雨たつぷりと浴ぶ  
仏壇の吾子の写真に「ジイジイ」と言ひて曾孫は手を合せをり  
浜畑 松枝  
松元 睦子  
岩下 ち江  
樫平 頼子  
米尾 和子  
坂之下典子  
中山タマエ  
浜田美代子

## 一般作品

いにしえはイギリス統治国なれば会話英語に今更学ぶ  
三月の終り近づき想い出す昔懐かしせわしあ頃  
春まだき枝垂れ桜のかたはらにまんさくの花ほつぽつと咲く  
臭木の新芽立つ川沿いを遠き日に腰にテゴ結い姉の後追う  
緊急の事態は終り飲み屋街堰切つたかに密になりゆく  
年取ると一人坊つちになる事か思えば辛い情けないかな  
夏に降りし大豪雨嘘のよう「俳句」  
小林 貢  
小林 如月  
中飯屋辰子  
後藤ヨシエ  
母木 良平  
町田 末則  
宗方 清明

## 明神俳句会

砂浜に流れ藻乾く二月尽  
初午の新しき旗墨を摺る  
梅一輪匂ひうかがふ島日和  
引き返すこともあるとか鶴帰る  
丸めた背一寸緩みぬ春隣  
蛙退きなさい軽トラがバックする  
淵脇 護  
母と寝た夜具の重さや初蛙  
大堂 早苗  
辻地蔵にのど館一つ春隣  
山寄加代子  
シクラメン今年ななどの年女  
二階堂恵子  
迫口 君代  
波を追ふ船足いそぐ二月かな  
坂口 静子  
関 喜久雄  
田園に優しき陽射し蛙鳴く  
関 佳代美  
肥後 広行  
大堂 正弘

## 町立図書館のおすすめ

図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介します。



ほしいのは  
つかれない家族

著：ハラユキ

家族という他人とどう過ごすか？世界共通の「つかれない家族」の暮らしかたと考えかたをいくつかの家族の話を通して紹介します。



じじ猫くらし

著：ふじひろ

人間と猫のなにげない暮らし。そこには幸せがいっぱいつまっている。

町立 指江図書館 ☎ 0996-88-6500

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1111